



回覧

あすなろっこ



令和8年3月2日発行
社会福祉法人岡山こども協会
あすなろこども園

〒709-0802
岡山県赤磐市桜が丘西3-14-19
TEL (086) 955-5665

これでピザがやけるの?!



あすなろにも
あったらいいのにな

さくらんぼ保育園の卒園製作で作ったピザ釜を見に、つき・ほし組でさくらんぼ保育園にお邪魔してきました。レンガで作られたピザ窯を前に「すごい！」と驚きのこどもたち。どうやってピザ窯を作ったのか気になるこどもたちはよく観察していました。

その翌日、なんとほし組保育室にピザ窯が！さくらんぼ保育園のピザ窯を見て“あすなろこども園にもほしい！”とこどもたちからの声があり、段ボールや画用紙などを使って作ることに。みんなで相談したり、必要なものを集めたりしてあすなろこども園にもピザ窯が完成！そこにはピザやトング、皿などもあり、「ここにピザを入れて焼くんよ」「中西さんにも作ってあげるわ！」とピザをふるまってくれました。

自分の気持ちを伝え、それがかたちになる喜びは、こどもたちにとって大きな自信になります。これからもこどもたちと一緒にわくわくする毎日を重ねていきたいと思います。次は本物のピザを作ってみたいな！

中西 沙由里

～節分～

2月3日の節分の日にも園でも豆まきをしました。少し前から「おにくるん？」と怖いけどちょっと気になるこどもたち。当日はやっぱり鬼の登場に涙する子もいましたが、自分の中の鬼とも戦いながらみごとに退治成功！おしまいに福の神が春を連れてやってきました。もうそこまで春が来ています。



きゅうしょくの じかん

【材料・作りやすい分量】

- ・豚肉 125g
- ・塩こしょう 少々
- ・醤油 小さじ1
- ・薄力粉 小さじ1
- ・卵 1個
- ・粉チーズ 大さじ1
- ・サラダ油 適量

【作り方】

- ①豚肉に塩こしょう、醤油で下味をつけ、薄力粉をまぶす。
- ②溶いた卵、粉チーズを混ぜ合わせたものを①に入れて、からめる。
- ③フライパンにサラダ油を熱し、②を流し入れて焼く。

※ポリ袋やジップロックを使うと洗い物も少なくて済みますよ。

※鶏肉、白身魚でもおいしく作れますよ。

1



2



3



～イタリア発祥の料理～ ピカタ



おおきな“わ”
だより

今月のテーマ ～もうすぐ〇〇～

はな組（0歳児）

『ゆき組に行ってみよう♪』

ゆき組と給食を一緒に食べたり、お昼寝をしたりとゆき組と過ごす時間が増えました。こどもたちは、ゆき組へ行く時は散歩気分で嬉しそうです。一緒に過ごす中でゆき組が自分で身の回りのことを行っている姿を見て「私もできる」と嬉しそうに同じようにやってみようとする姿がはな組らしくて可愛い瞬間です。

朝倉満里奈



ゆき組（1歳児）

『にし組になっても』

にし組に向けて、自分でできることに取り組んでいます。食事の場面では、スプーンの上手持ちから下手持ち、3点持ちへと少しずつ意識しながら食べています。「こう？」と保育者に確認しながらスプーンを持ち直すしたり、「上手だね」と声をかけられると嬉しそうな表情をしたりして、自分でできることに喜びを感じていることもたちです。

内田 菜月



にじ組（2歳児）

『もうすぐつき組』

つき組の生活に向けて降園準備を始めました。「カバンの中にコップ袋あるかな？歯ブラシ入れたかな？」と一人ひとり確認し、保育者と一緒にしながら、こどもたち自身ができるようにしています。準備ができるとカバンを持ってホールに置きに行く途中で「かっこいいね」と声をかけられると満足そうな表情のこども達。にじ組の生活とは大きく変わることもたくさんあり、嬉しいけれど、戸惑うこともいっぱいありますが、こどもたちの今の気持ちに寄り添いながら、一つ大きくなる喜びを共感し、心の準備もしています。

河合 比呂子



つき組（3歳児）



『もうすぐ緑帽子』

進級に向けて、ホールでの食事を始めました。保育室で食事をしている際に、皿の持ち方・配膳の仕方等のマナーの確認をくり返し行うことで、こどもたちにも身につき、ホールでも同じようにやってみようとしています。こどもたちは「今日もホールで食べられるの？」とわくわくしている様子です。「もうすぐ緑帽子になるね」という会話もはずみ、進級を楽しみにしています。

影山 美穂

『もうすぐそらぐみ』

そら組からグループごとに当番活動の引継ぎをしてもらいました。朝は郵便係、昼は絵本整理です。そら組のこどもたちが「これはこうするんよ」と丁寧に教えてくれて、“よし、やってみよう”と動いています。当番活動をすることに意欲的で、「明日は何グループが当番？」「早くやりたいな」「ご飯食べ終わったからそら組に行ってくる！」と張り切る声が聞こえてきます。“もうすぐそら組になる”という期待がより大きくなってきているなと嬉しく感じました。

牧 文香

ほし組（4歳児）



そら組（5歳児）



『小学生にあこがれて』

こども園での生活も残すところ1か月。あっという間に1年が終わろうとしています。こどもたちは、“4月から小学生”と就学への不安と期待が膨らんでいるようです。おやつ後のあつまりの時間。自分たちで帰る用意をした後あつまりをするために集まって待っている姿を見ると「もう小学生みたい！」と驚きました。

時計を見て少しずつ、自分たちで生活を進める姿も見られるようになり、大きくなったなと日々成長を感じます。こども園での生活もわずかですが、友だちとの思い出をたくさん作りたいです。

岡本 未来

学童クラブ

『もうすぐ決行』

先日、行ったわくわくの森環境整備アルバイトのアルバイト代の使い道が各クラブ決まり、活動実施に向けて動き出しました。クッキングやお菓子パーティーなどやりたいことは様々。クラブのリーダーを中心に材料の買い出しに出かけています。買い出しの後は「学校から早く帰る日にやろうか」と楽しそうに計画することもたちでした。

原 尚平



子育て支援センター



『もうすぐ歩けるよ!』

日々の成長の中で、つかまり立ち、宙立ちを経て、「もうすぐ1歩が出そうだね!」と、保護者と一緒に利用している友だち、職員と見守っています。子育て支援センターでは、あそびを通してそれぞれのこどもたちの成長を共有し、関わり合う中で信頼関係築き、ともに子育てをする仲間づくりを育むことができる場となっていることを嬉しく思います。 石川 香織

さかけより（法人事務局）

寒さ厳しい日々を超えて、春がやってきます。

たくさんの『新しい』と出会える季節です。ひとも場所も体験も、そして自分自身も。いろいろな変化が起きる中でも、プラスに変換して取り組んでいきたいです。

齊藤 希子

